

公表: 令和3年 4月 15日

事業所名 ソフィアキッズ教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		・十分であると感じる。
	2	職員の配置数は適切である	5	2		・適切である時もあるが、重度の子が多い時はもう一人いると安心。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	・段差が少ない。 ・段差を極力なくしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	・会議などで話し合いをしている。	・毎朝の申し送りにて業務改善を図り、児発管などは別途にミーティングを儲けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	・その都度、保護者様との連絡を密に情報共有をして改善につなげている。	・今回の評価表を活用して、更に業務改善と向上していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	・ブログに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		・児童の支援・療育に関しては、同業者同士との話し合いで業務改善に務めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	・いろいろな研修を実施している。	・年数回の全体研修と専門的な研修を社内で開いている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	・保護者の方と話をする時に、ニーズをしっかりと聞いている。	・利用者のいない空き時間に申し送りの時間を設け、放課後等デイサービス計画・評価を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	・適応行動をした時に、記録をしたり、職員間で伝えている。	・標準化されたアセスメントツールを使用して、特性に合った支援を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	・個人で計画を立案することもある。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	・職員の手作りした教材・教具や購入した物等、いろいろな教材を使用している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		・平日は個別学習支援に特化しており、一人45分間当てている。休日、長期休暇は集団活動・課題を決めて設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3		・打ち合わせをする時もあるが毎日ではない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		7		・支援終了後は打ち合わせをしていない。 ・個別に送迎が入り、支援終了後の打ち合わせは難しいが、その都度、気づいた点等は職員間で話し合い、次回の会議などで情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	・毎日支援記録や学習記録を記入している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	3			

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	・している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2	・おたよりなどをもらっている。 ・その都度、連携を取り、必要な時には書面にてやり取りをしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		・受け入れをしていない。 ・現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。今後、利用希望があれば検討していきたいと思う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	・相談支援専門員と連携し、情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5		・まだ対象の利用者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	・研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		・公園などに出かけた時に交流のある子もいるが、ない子もいる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7		・分からない。 ・今後、機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	2		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	・話をする時に助言している。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		・特にしていない。 ・コロナ対策として、保護者の集まる会などは催してはいるが、今後の社会情勢に伴いたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	・苦情係を設け、その都度、丁寧に対応している。	・どのようにしたらいいか、説明を受けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		7	・ブログがある。	・会報は発行していないが、行事予定は簡単にお知らせはしている。
	35	個人情報に十分注意している	7		・保護者に個人情報アンケートに答えてもらい、取り扱いに注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	・連絡ノートやお知らせには、ひらがなや漢字にルビを振って読みやすくするなどしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		・今年度は、コロナ対策により行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3		・職員間のみ周知している為、今後、保護者の方々にも周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	・避難訓練を計画して、実施している。	・救出その他は行っていない為、今後は機会を作りたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	・職員間にて、虐待防止研修を行っている。	・出入り口に虐待のポスターを貼って周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについては、組織的に決定し、マニュアル化している。	・まだ、そういった対象者がいない為、放課後等デイサービスの計画に盛り込んではいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		・保護者からの連絡のみで、医師の診断書は頂いていない。現在、食物アレルギー対応のお子様には、除去食としておやつ・行事食などを提供している。指示書などは、検討していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・作成して、事例があった時は記入をしている。	・ヒヤリハット事例集をファイリングしている。